

はてなの缶詰

入院する時に「リストバンド」の装着をお願いされるのはなぜ？



患者さんの誤認を防止するために

大きな病院にはたくさんのお客様が入院しているため、氏名のみでは本当にご本人なのかの確認が難しい場合があります。しかし、患者さんを間違えて不適切な治療をするような「重大な医療事故」は必ず防がなければなりません。そこで、兵庫医科大学病院ではそういった誤認を防止するために、入院患者さん1人ひとりに対して「リストバンド（正式名称：患者識別バンド）」の装着をお願いしています。

リストバンドには「患者さん番号」「氏名」「生年月日」などが記されており、バーコードからはさらに詳細な情報を読み取ることができます。これらの情報は、手術・検査・投薬

などの際に本人確認に使用されます。同姓同名の患者さんがいらっしゃる場合や、直接口頭で確認をすることが難しい場合も、確認ミスが起こらないため安全です。また入院中に違和感なく過ごせるよう、肌になじみよく柔らかい素材が使われています。

患者さんからも「間違えられる心配がないから安心する」「付けていてもあまり違和感がない」などという声をいただいております。当院では入院される方に対して広く活用しています。ただし「拘束・監視されているようで嫌だ」という方には、ベッドのそばなどに置いていただくようお願いするなど、あくまで患者さんの同意のもと装着しております。

患者さんの誤認防止のためにご協力をよろしくお願い致します。